

【使用上の指針】

1. この式は主日聖餐式の中で用いることを前提としています。
2. 主日聖餐式において、入信の式（洗礼堅信式または堅信式等）が行われず、この式だけを行う場合、以下のような箇所が考えられます。
 - ① 聖餐式に先立って。
 - ② 説教とニケヤ信経の間。
3. 主日聖餐式において、この式と入信の式（洗礼堅信式または堅信式等）を合わせて行う場合、以下のような箇所が考えられます。
 - ① 聖餐式に先立って。
 - ② 参入の唱和の後。
 - ③ 式の最初に懺悔と赦しの祈りを用いる場合は、その後。
 - ④ 祈祷書 162 ページの祈り（清めの祈り）の後。
4. 「聖堂の定められた場所」とは、以下のようなところが考えられますが、それぞれの教会の状況でお考えください。
 - ① 聖堂の入口。
 - ② 洗礼盤の周り。
 - ③ 聖所の入口。
5. 教名のない人の場合は、この式の中で教名をいただくことができます。

日本聖公会の交わりへの受け入れ式

この式は聖公会以外の教会で洗礼を受けた人、あるいは洗礼堅信を受けた人で、日本聖公会に転会を志願する人を受け入れるための式である。

牧師は転会志願者の教名（ある場合）、姓名、生年月日、受洗年月日、堅信年月日、場所、司式者名、教父母名等、必要事項を入手するよう努める。

^{エписコポス}主教による堅信を受けていない人は、適切な時期に主教により堅信式を受ける。

この式は教区主教または当該教会の牧師が司式して行う。この式と併せて入信の式（洗礼堅信式または堅信式等）が行われる場合は、入信の式に先立ってこの式を行う。

転会志願者が自分で応答することが困難な場合には、志願者の保護者または教父母が代わって答える。

一同立つ。

ここで聖歌を用いてもよい。

志願者は聖堂の定められた場所に立つ。

せんれい かくにん 洗礼の確認

司式者は志願者に言う。志願者は一人ひとり答える。

司式者 あなたは、^{ちち こ せいれい な}父と子と聖霊のみ名によって、^{みず せんれい さず}水で洗礼を授けられましたか

志願者 はい、^{さず}授けられました

にっぽんせいこうかい まじ う い 日本聖公会の交わりへの受け入れ

司式者は志願者の方に手を延べて言う。

司式者 ^{あわ ふか あい かみ} 憐れみ深い愛の神よ、あなたは「^{しゅ ひと しんこう ひと せんれい ひと め}主は一つ、信仰は一つ、洗礼は一つ、召された召しを受けて保つ望みも一つ」と教えられました。そしてわたしたちは^{せんれい}洗礼により、^{みなひと からだ}皆一つの体となり、^{たまもの あた ひと れい}さまざまな賜物を与える一つの霊にあずかっています。キリストの^{からだ た}体を建てるために、この人（びと）に与えられた^{たまもの}賜物のゆえに感謝します。どうか、この人（びと）をキリストの^{ひかり て みちび}光で照らし導き、キリストに^{したが あゆ}従って歩ませてください。そして、わたしたちが^{しんこう}信仰における^{いっち}一致のうちに、ともにキリストにならう者となり、この世における^{かみ ほうし わざ}神の奉仕の業に加わることができるよう。主イエス・キリストによって^{ねが}お願いいたします

会衆 アーメン

司式者は受け入れる人、一人ひとりに言う。一人ひとりの手を取りながら言ってもよい。

司式者 ^{きょうめい せいめい}（教名、姓名——）、^{かみ}神があなたを^{せんれい}洗礼によって、^{し と}使徒たちからの^{ゆいいつ せい}唯一の聖なる^{こうかい えだ}公会の肢としてくださったことを^{かんしゃ}感謝し、あなたを^{にっぽんせいこうかい まじ}日本聖公会の交わりの中^{なか}

う 受け入れます。ちち こ せいれい な
に受け入れます。父と子と聖霊のみ名によって

会衆 アーメン

同じ礼拝の中で入信の式が行われない場合には、以下の祝福の前に、次の祈りを用いてもよい。

司式者は会衆に向かって言う。

司式者 かみ かぞく 神の家族であるわたしたちのこれからの歩みのために、ともに祈りましょう
一同 すく ちから みなもと 救いと力の源である神よ、わたしたちがキリストにあって一つの体とされて
いることを感謝します。どうかわたしたちに、日々豊かに霊の恵みの賜物を増し
くわ 加えてください。そしてともに じゅうじ か 十字架につけられたキリストへの信仰を告白し、
その復活を宣言し、キリストの さいししよく 祭司職にあずかって、とな びと あい つか 隣の人を愛し仕える者
として してください。しゅ 主イエス キリストによってお願いいたします アーメン

司式者は次の言葉で受け入れた人を祝福する。

司式者 しゅ 主があなた（がた）を しゅくふく 祝福し、あなた（がた）を まも 守られるように。しゅ かお 主がみ顔を
もってあなた（がた）を て 照らし、あなた（がた）を めぐ 恵まれるように。しゅ かお 主がみ顔を
あなた（がた）に む 向け、あなた（がた）に へいあん たまわ 平安を賜るように

会衆 アーメン

<この式文の施行は2017年1月1日です。>